

ビジネスアプリケーションシステム構築 の新開発手法 「AGILO² (アジャイロツォー)」

川鉄情報システム株式会社

2003.5.21

1. AGILO²とは

当社流オブジェクト指向(OO: Object-Oriented)の考えにより編み出した、ビジネスアプリケーションシステム構築の新手法

当社が長年にわたって研究・適用してきたデータベース構築技術(モデリング技術)と、ソフトウェアの部品化・再利用技術を一体化

システム構築方法論に加え、プロジェクト管理手法や実現のためのツール群を体系化



短期間で質の高いシステム構築が可能

2. 特徴

- ・早期可視化 F/B(成果物,プロセス)
- ・CSF(コア機能)重視インクリメンタル
- ・アプリケーション骨格構造 = データベース構造重視
- ・DA(用語統一/共通語化)を重視
- ・正規化の徹底(冗長性排除)
- ・コンテンツ(業務知識)を重視
- ・一貫した開発マネジメント
- ・フラット&コラボレーティブなチーム編成

3. 対象分野

資産：モデル、パターン、部品

		ビジネスアプリケーション(含むFA)		ミドルウェア、 パッケージ
		企業共通	企業特有	
基幹系		ERP競合	コアコンピタンス	多Vup 多Porting
		ERP凌駕/ 住分け	業界平均的 (非コンピタンス)	
		ERP補完		
情報系		×ERP+RAD EUCツール等	×RAD EUCツール等	

例

得意なモデル
を蓄積

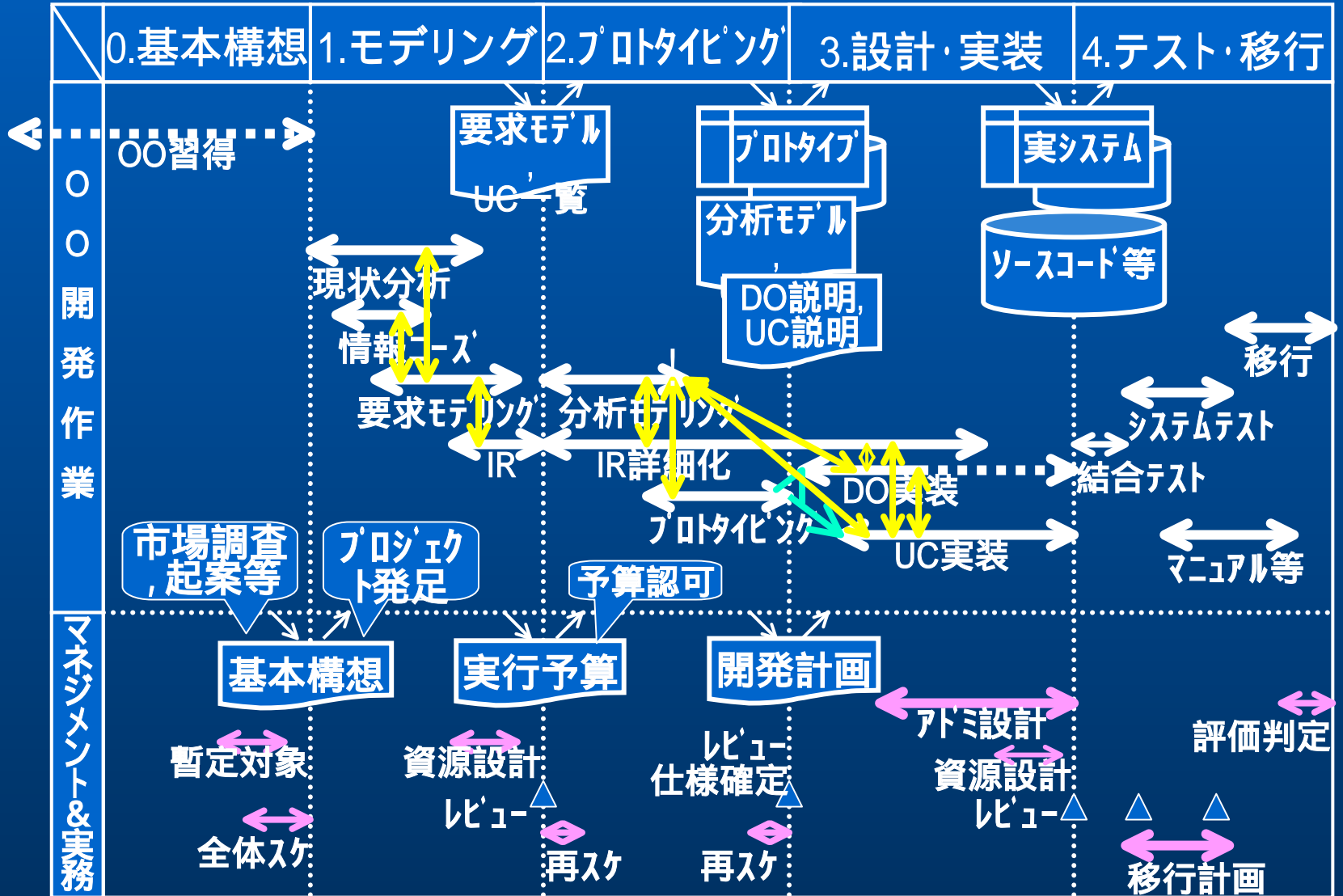
- 考課
- 調達
- 在庫
- 原価

プレゼンテーション
に過ぎない

: 資産化有望

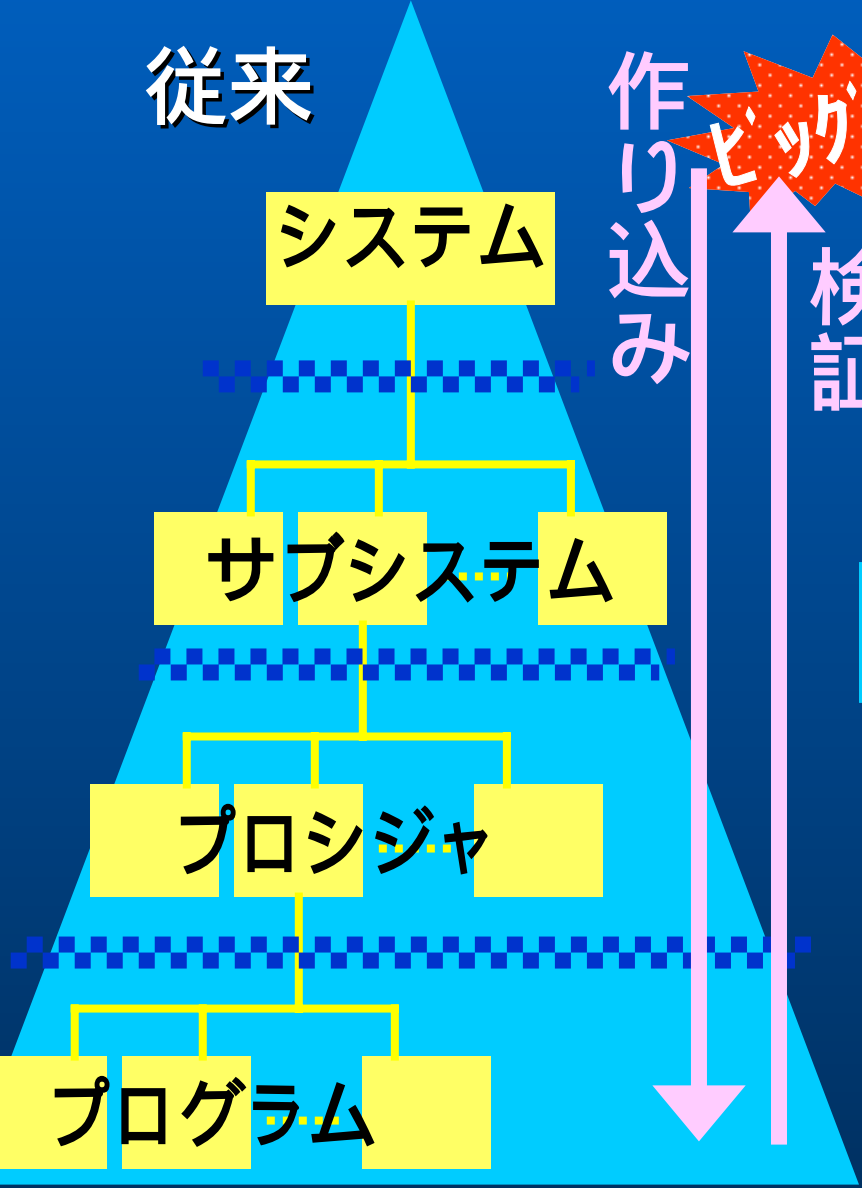
: AGILO²対象

4. 開発プロセス

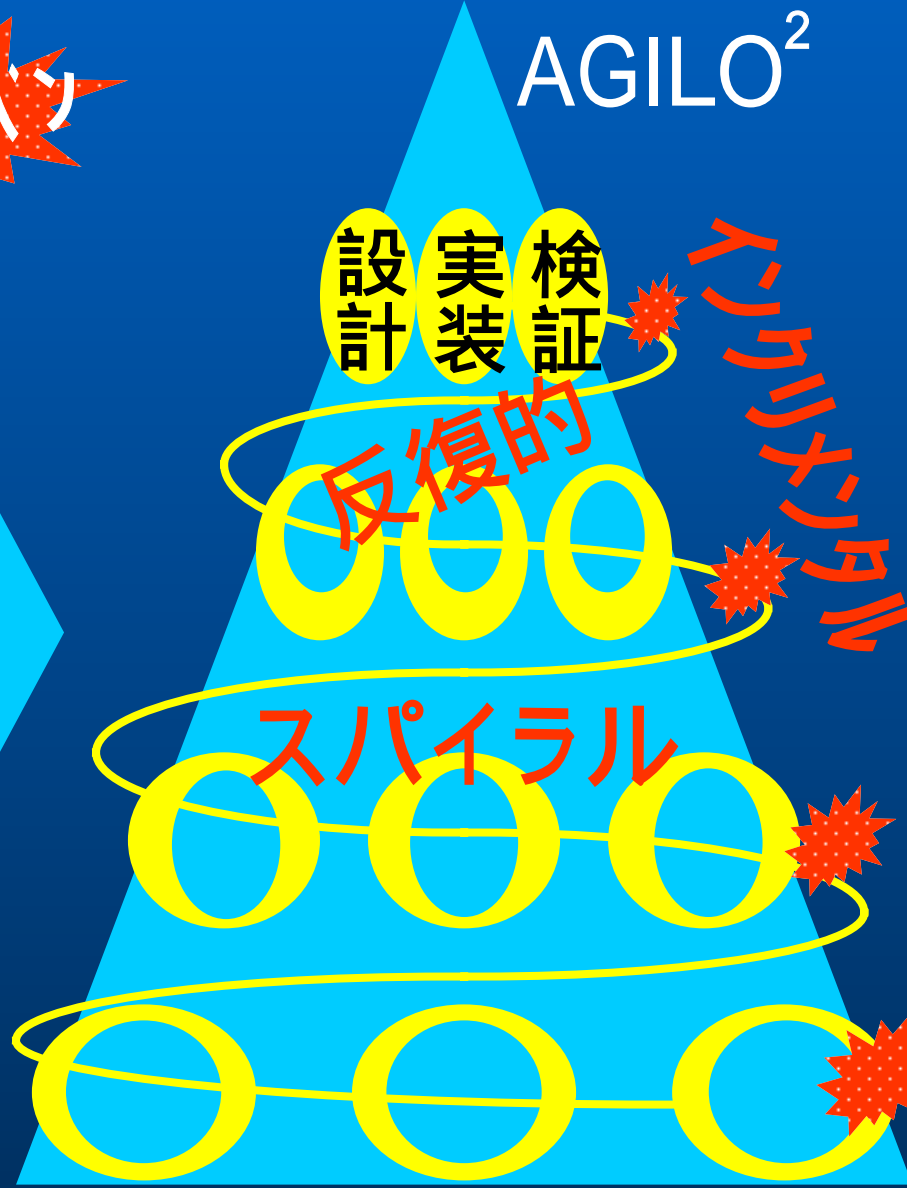


5. 開発マネジメントの違い

従来



AGILO²



6. マネジメントの特徴

- ・ Non-WF (ウォーターフォール型開発)
- ・ 局所効率を全体最適へ
- ・ 迅速な意思決定
- ・ フラット=権限委譲=特化
- ・ 協調/コミュニケーション
- ・ 知的ワーカのモチベーション維持
- ・ 一気通貫

7. 事例

一般顧客向け

- ・不動産信託システム
- ・株式/債券分析情報システム
- ・医療材料在庫管理パッケージソフト「管理名人」
- ・新債券システム(適用中)
- ・賃貸管理システム(適用中)

JFE/JFEグループ向け

- ・熱延生産管理システム
- ・システムリフレッシュ
- ・中径シームレス操業システム

社内向け

- ・新購買システム(適用中)